

平成 27 年第 1 回定例会 環境農政常任委員会

平成 27 年 3 月 10 日

意見発表

それでは、公明党神奈川県議団を代表し、当委員会に付託されました諸議案に対し、賛成の立場で意見、要望を申し述べます。

まずはじめに、平成 27 年度当初予算重点項目の中にあります地球温暖化対策の推進に関連してであります。

特に地球温暖化対策教育として 2,411 万 8,000 円が計上されており、学校教育等におけます環境教育の推進に充てるとのことです。その中で環境教育学習教材作成事業費として 410 万 5,000 円が計上され、環境教育を支援する動画教材を作成し、教員に提供するとともに事業者や県民がいつでも利用できるようにホームページに掲載し、教育に資するとのこととあります。環境問題は、身近な生活、行為が知らず知らずその原因となっていることから、環境に配慮した行動がとれる将来の人材を育てていくことが重要であります。そのためにも学校教育と連携することは有効です。環境学習、環境教育に取り組みやすい環境を整備することによって普及が期待されますので、ニーズに応えた教材とすることはもとより、実際に授業で活用されるよう、教員をはじめとした関係者との連携をしっかりと行っていただくよう要望しておきます。

次に、予算重点項目にある循環型社会づくりの推進に関してであります。

特に適正処理の推進の中に計上されているポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基金負担金 4,682 万 6,000 円に関連してであります。この負担金は P C B 廃棄物処理に係る県内中小企業の費用負担を軽減するため、独立行政法人環境再生保全機構に対して負担するものであります。P C B 廃棄物の処理は、県民の生活環境保全のため必要なことであり、県は的確に未処理の P C B 廃棄物を把握し、その適正処理に向けて指導をしていただきたい。そのためには人も金も必要と思いますが、しっかりとした体制整備を整えるべきであります。また期限内に処理を終わらせるためには、最終的には強制力を伴う措置も必要になってくると思われま。それらの制度、体制整備についてしっかりと国に要望していくべきであります。あわせて、排出事業者の収集運搬費用に要する負担軽減策についても対応を検討していただきたいと思ひます。

次に、重点項目にある自然環境の保全・再生と活用に関連してであります。

この中には、里地里山の保全と活用に 1,138 万 6,000 円計上されております。本県の里地里山の保全等を行っている団体への支援や、県民の理解や参加を促進する取組や、新たに里地里山保全の効果に関する研究を行うというものであります。里地里山の保全等を図ることは、地域を守り活性化する上でも大変重要なことで、また里地里山がもたらす恩恵は広く県民が享受するものであります。活動団体も増えているということとあります。今後も県内のより多くの地域で里地里山の保全策が個人や企業なども広く糾合し、広がっていくようソフト施策の充実、例えば人材、資金などのデータベース化にしっかりと取り組んでいただくよう要望しておきます。

次に、神奈川の特徴を生かした農林水産業の展開についてであります。

中でも意欲ある担い手への農地集積の促進についてであります。担い手への

農地集積を図り、農地の中間的受皿となる農地中間管理機構に対して助成するとともに、同機構に農地を貸し付けた者へ協力金を交付する市町村に対して助成するものであります。平成 27 年度は農業公社の体制等が強化されるということですが、業務委託などうまく活用して事業が進められるよう、県としても市町村や J A への働き掛けなど農地利用の効率化を促進する農業公社をサポートしながら取り組んでいただくよう要望しておきます。

次に、新たな酪農振興等の推進に関してであります。

本県酪農業の活性化を図るため、酪農関連機関と連携して牛乳の生産能力の高い優れた乳牛を効率的に増産する技術を活用した生産基盤の強化や、県産牛乳の P R、ブランド化の推進、自給飼料増産にも取り組んでいただくことを要望しておきます。中でも乳量や乳質に優れた乳牛から、効果的かつスピーディーに優良な後継牛を増産する技術である O P U 技術の実用化に向けて、実証研究は大いに期待しているところであります。平成 29 年度にこの技術を実用化し、普及させていく予定と聞いておりますが、実証研究の間に実施体制を整備するなど、スムーズな実用化に取り組まれるよう、本県の畜産技術センターの英知を結集して取り組んでいただくよう要望しておきます。

最後に、卸売市場整備に対する支援についてであります。

平成 27 年度の国庫補助金の獲得が見込めない中、横浜市とともに国との協議を重ね、平成 26 年度予算として整備事業に対する国庫補助金を獲得されたことについて評価いたします。横浜市中心卸売市場は、横浜市内だけでなく県内の生鮮食料品の流通において大きな役割を果たしておりますので、同市場の整備が円滑に進められるよう、引き続き支援していただくよう要望しておきます。また、南部市場に残る花き部につきましては、再編後も円滑に運営されるよう助言等についてよろしく願い申し上げます。